

令和8年度 教職大学院

受 験 番 号

教職大学院 II 期入試
(特別選抜 I・特別選抜 II, 教職経験 10 年以上)

【授業及び授業構想に関する筆記試験】(90 分)

(解答は別に配る用紙に書いてください。)

【問 題】

文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センターは「学習評価の在り方ハンドブック(小・中学校編)」を公表している。その中で、「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージを、右のページの図 1 のように示している。

横軸(①)は、「知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面」であり、縦軸(②)は、「①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面」である。そして、これら二つの側面から評価することが求められるとしている。このことについて、次の各問いに答えなさい。

問 1

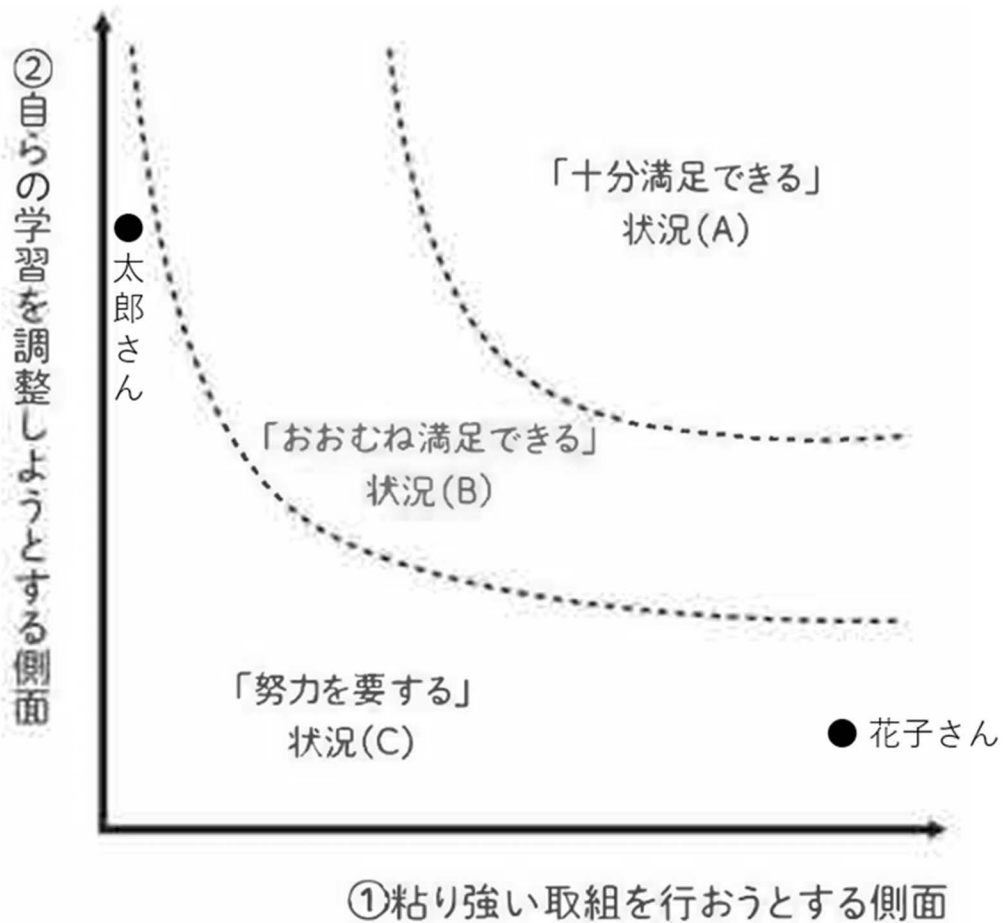
図中の太郎さんも花子さんも、ともに「努力を要する」状況(C)と評価されています。しかし、その状況や支援のための手立ては異なります。それぞれの学習の状況や支援のための手立てについて、教科や内容を例に挙げながら具体的に説明しなさい。二人の違いが明確に分かるように説明すること。

(字数は特に定めないが、別に配る罫紙の解答用紙に収まるように記述すること。)

問 2

「主体的に学習に取り組む態度」の評価を実現する授業として、どのような授業を行うことが考えられるか。小学校、中学校または特別支援学校(小学部、中学部)における教科・学年、単元(教材)を決め、別に配る解答用紙の形式にしたがって書きなさい。また、自身が構想した授業のポイントを分かりやすく解説しなさい。

【図1】



「学習評価の在り方ハンドブック（小・中学校編）」P9

（文部科学省 国立教育政策研究所教育課程研究センター 令和元年6月）